

下水道事業における費用効果分析マニュアル(案)正誤表(1/2)

	箇所	誤	正
2	P11 表 1 - 1 費用便益比 定義	シグマのした t-1	シグマのした t=1
3	P13 3 行目	$C=C_t \times \{i+i/((i+1)^{n-1})\}$	$C=C_t \times \{i+i/((i+1)^n-1)\}$
5	P17 21 行目追加		S：全体計画期間
9	P23 最終行	図 1-1	図 1-3
10	P24 タイトル	図 1-1	図 1-3
12	P 26 表中 14 段目	農業用水の汚濁による農業被害額	水質汚濁による農水産業被害軽減額
14	P 30 20 行目	(参考 1：下水道事業デフレータ)	(国土交通省ホームページの統計情報 - 建設関係基礎統計資料を参照)
15	P32 最終行	(参考 1：下水道事業デフレータ)	(国土交通省ホームページの統計情報 - 建設関係基礎統計資料を参照)
16	P34 表 2-1-1 (代替法) 8、11、14 段目	年度別単独浄化槽設置基数	年度別単独浄化槽累計設置基数
18	P40 最終行	その地区の実測道路延長をもとに、全体の道路延長を・・・	その地区の実測水路長をもとに、全体の水路長を・・・
19	P46 下から 3 行目	・年度別浄化槽維持管理費	・年度別浄化槽敷地占有費
22	P53 下から 3 行目	× 1 世帯当り周辺環境改善に対する WTP	× 1 世帯当り水周り利便性向上に対する WTP
31	P62 5 行目	・・・漁業者の所得上昇効果上するものとする。	・・・漁業者の所得上昇効果を計上するものとする。
36	P67 7 行目	= {設計降雨強度以下の降雨による被害の軽減額 (B1) × 下水道寄与率 (1) + 設計降雨強度を超える降雨による被害の軽減額 (B2) × 下水道寄与率 (2)} ÷ 浸水実績収集期間 (年)	= {設計降雨強度以下の降雨による被害額 × 下水道寄与率 (1) + 設計降雨強度を超える降雨による被害額 × 下水道寄与率 (2)} ÷ 浸水実績収集期間 (年)
38	P70 図中	年度別便益の算出	年当たり便益の算出
39	P70 図中	費用便益比 B/C 等の算出	費用便益比 B/C の算出

下水道事業における費用効果分析マニュアル(案)正誤表(2/2)

	箇所	誤	正
40	P71 13行目 P73 13行目	換算係数= $\{i+i/((i+1)_n-1)\}$	換算係数= $\{i+i/((i+1)^n-1)\}$
41	P74 表中 P75 表中	公共施設、事業場施設、観光施設のデータ項目 年度別単独浄化槽設置基数(基)	公共施設、事業場施設、観光施設のデータ項目 単独浄化槽設置基数(基)
43	P76 表中	年度別処理場・ポンプ場空間の利用面積(m ²) 年度別光ファイバー布設延長(m/年) 年度別排雪量(m ³) 年度別下水汚泥有効利用量(m ³) 年度別焼却灰有効利用量(m ³) 年度別汚泥溶融スラグ有効利用量(m ³) 年度別汚泥消化ガス有効利用価値(円)	処理場・ポンプ場空間の利用面積(m ²) 光ファイバー布設延長(m) 年当たり排雪量(m ³) 年当たり下水汚泥有効利用量(m ³) 年当たり焼却灰有効利用量(m ³) 年当たり汚泥溶融スラグ有効利用量(m ³) 年当たり汚泥消化ガス有効利用価値(円)
44	P81 下から3行目	浄化槽維持管理費	浄化槽敷地占有費
46	P85 15行目	単位水量当り農水浄化・取水単価低減額	単位水量当り農水浄化・取水費用低減額
49	P87 7行目追加		+年当たり汚泥消化ガス有効利用価値(熱量換算額で算出)
50	P88 (2)調査計画の箱書き	WTPの質問方法 (4)3参照) アンケート調査実施方法 (6)3参照) 調査票の配布数 (6)3参照)	WTPの質問方法 (3)3参照) アンケート調査実施方法 (5)3参照) 調査票の配布数 (5)3参照)
51	P90 表2-6 二段階二項選択方式の設問例 9行目	・・・表8・・・	・・・表2-13・・・
53	P93 31行目	一段階二項選択方式の場合	二段階二項選択方式の場合
55	P88 3行目	・・・どれだけの金額を支払う意志があるか・・・	・・・どれだけの金額を支払う意志があるか・・・